



〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

「アベノミクスの破綻と 地域金融機関の再編」 7月24日 滋賀銀行労使懇談会

7月24日午後1時30分より、労使懇談会を行いました。懇談のテーマは、「銀行「取り巻く環境と当行の課題」、組合「アベノミクスの破綻と地域金融機関の再編」。懇談会には銀行側からは今井専務、大野常務、若林常務、西常務、斉藤合の発言の一部を掲載しています。

地域金融機関の合併・再編を どう見るか

これまでの金融情勢を再度整理しながら、意見交換としたい。貸出金利・預貸利ぎやの低下により、地域金融機関の資金利益は減少している。その収益性・収益力悪化をどう評価するのか。組合の考えは主に3つの評価に分かれる。「担保保証に依存した事業性を評価しない銀行経営の責任」「貸出金利低下を貸出額増額で補う県境を越えた貸出競争の悪循環。県内における高シェアの強みが活かされない市場支配力の後退」「人口減少・中小企業減少による経営基盤の衰弱と銀行過剰論」である。特に、

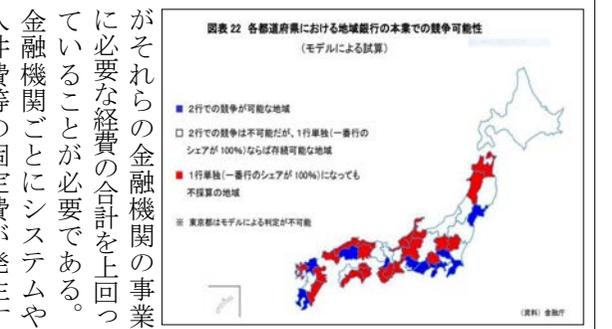
アベノミクスの失敗が危機の原因

しかし、ここに至るまでに問題点はないのだろうか。組合が思う問題点を2つに整理すると「アベノミクスとりわけ金融政策の失敗を問わしていることがあげられる。アベノミクスの失敗が真の危機の原因である。具体的には、マイナス金利政策、中小企業の低生産性

地域金融機関本来の役割発揮とは逆行した再編論について

「政府の成長戦略を地域金融機関の機能強化（新陳代謝促進）で支える仕組み」「そして県境を越えた広域での合併（＝スーパーリージョナルバンクの追求）」である。しかし、これらが真の解決方法なのか。悪循環を一層促進するだけではないのか。

本心に「伝統的な銀行業務を中心とするビジネスモデル」は持続可能でないのか。たしかに、本業（貸出・手数料ビジネス）利益赤字が2016年度決算で過半数の54行あり、本業以外でも比較的金利の高い保有有価証券の返済・償還が続いており、地域金融機関の本業と本業以外の収益は一層悪化していく。



金融庁は「なぜ従来と違う指標を経営評価に使用するのか。顧客向けサービス業務の利益は「貸出残高×預貸金利回り差プラス業務取引等利益マイナス営業経費」で計算される。当行の同業務利益は11億円であったと思うが、有価証券等運用を奨励してきたのは金融庁でありながら、有価証券等からの収益を除く理由は何か。営業経費全体をコストとして収支を評価する手法で良いのか。

説明資料「地域金融の課題と競争のあり方」を発表

その説明として、金融庁には有識者による「金融仲介の改善に向けた検討会議」で「地域金融の課題と競争のあり方（2018年4月11日）」の報告書を発表し、そのなかで次のように記載している。「一般に複数行での競争が成立するためには、地域から得られる収益

地銀業界に反発の声 組合側も金融庁と意見交換予定

ただ、地銀業界も黙っている訳ではない。新聞報道では、全国地方銀行協会の佐久間会長は5月の定例会議で「いろいろな前提を置いた試算。あれをそのまま受け止める人はいない」と述べられている。また、地銀の決算会見でも大東銀行の鈴木社長は「もう少し精緻な分析をしていただきたい」、北都銀行の斉藤頭取は「マイナス面だけをとらえた粗い分析。真に受けるのはどうか」と反発の声も多い。

私たちもこの報告書については再編を進める目的で作成されたものと考えており、わたしたちの上部団体金融労連で今年の秋に同報告書について金融庁と意見交換をする予定をしている。当行としては同報告書についてどのように考えておられるのかお聞きしたい。

滋賀国民春闘共闘会議 18春闘交流集会

7月19日、守山市で国民春闘共闘会議主催の18春闘交流集会が開催されました。交流集会には、県内単産などが集い、今春闘の経過や方針などが報告交流されました。

自治労連で組合員増勢 生協でパート時給アップ

滋賀自治労連は県立大学で非正規雇用の無期転換の実現により、分裂から28

経済闘争や労働条件改善要求してこそ改善できる

経済要求ではベア回答は少く、要求しない組合も多いため経済闘争や、労働条件について「要求してこそ改善できる」また、労働法改



写真は挨拶をする瀧上議長

悪法案は成立したが、「法で決まっても、職場に持ち込ませない」闘いをするところが組合として重要であることの認識を共有しました。（小原信夫）

子どもたちに平和な未来を！ 第64回滋賀県母親大会開催

**湖南市に
700人がつどい**

7月1日、湖南市の石部小学校を会場に、第64回滋賀県母親大会が開催され700人を越える参加があり、滋賀従組からは先輩組合員7人が参加されました。

午前10時から行われた分科会は、「絵本を楽しむ世界を子どもたちに」「みんなで考えよう、子どもの育ちと教育を」「いきいき・安心の高齢期を過ごすために」「農と食を考えよう」「だれにでも起こりうる「冤罪」とは」「沖縄に心を寄せて学び、話し合おう」「戦争が残した傷あと」「うたいませんか いのち輝く明日へ」など16のテーマ（奇数分科会のみ紹介）で熱心な討論が行われ、「湖南市の国宝を訪ねて」「東海道ふれあい散歩石部塾」の2つの異動分科会で歴史に触れ初夏の湖南市を楽しみました。



（分科会で議論するみなさん）



（FLAPのオープニング）

**FLAPで開会
運動交流など**

午後には開催された全体会では、FLAPによるかわいイキッズダンスでオープニング、小川恭子実行委員長（弁護士）は「子どもたちの未来を明るくものにするために共に頑張りましょう」と挨拶をされ、次に谷口茂雄湖南市教育長から歓迎の挨拶を受けました。続いて、滋賀の運動交流「とどけ、わたしたちの願い」



（滋賀の運動交流の「コマ」）

罪・自白事件に再審開始決定

**自白を強要させた
最悪の冤罪事件**

大津地裁（今井輝幸裁判長）は本日7月11日、阪原弘さんの遺族による再審請求に対し、再審開始を決定しました。故阪原弘さん1984年12月、滋賀県蒲生郡日野町で発生した強盗殺人事件の犯人として、事件から3年後に逮捕・起訴され、警察・検察の取り調べの中でいったん自白したものの、起訴後は一貫して無実を訴え、最高裁までたどり続けたが2000年9月上告棄却、無期懲役が決定、収監中に亡くなりました。

そもそもこの事件は発生から3年あまり犯人解明に至らず、客観的証拠がないなか、阪原さんを犯人とする警察の予断にもとづき自白を強要し逮捕したもので、そして、阪原さんが無実であることを示す証拠等々を意図的に隠へいしました。殺害方法など客観的事実はことごとく矛盾し、誘導や演出の結果とも言うべき事態が明らかになり、結果裁判所は再審を決定したので



（以下編集部で追記）

なお、許せないことに、大津地検は17日、再審開始を認めず、即時抗告しました。服とし、即時抗告しました。（県労連FAXニュース 2018年7月11号より）（写真は再審開始の横断幕を掲げる弁護士団。提供・稲森善穂さん）

職場の声

**従業員はみんな
頑張っています**

集中豪雨で、6日は始発から、びわこ線も湖西線も不通で、出勤に多くの方が苦労されたと思います。当日の食堂で「前日に始発からJRが動かないことがわかっていたので、○○さんは朝3時に起きて来たらしい」と隣の人の話が行われ、憲法や原発、高齢者の生活、市民病院建設、再審裁判など県内の様々な

聞こえてきました。異常事態で少し早く出るのには理解できるとしても、午前3時は異常事態だと思いつながら、まじめに頑張る従業員への待遇を公平にしてもらいたいと思った。人件費削減が目的でないと言っている「人事制度の導入精神」を思いました。



が

運動が報告され交流が深められました。

「ママが子どもの未来にできることは」 記念講演 西郷南海子さん



葉にしよう。皆が幸せにならなければ子どもも大人も守れない」と。そして最後に自著の絵本の「だれの子どももころさせない」と結びました。

**楽しく手を繋ぎ合っ
て、母親運動を！**

大会の最後に「第64回滋賀県母親大会アピール」が採



、記念講演は、西郷南海子さんが「ママが子どもの未来にできることは」と題して行われました。西郷さんは「読書好きで小学校4年の時父親が買ってくれた手塚治虫の『アドルフに告ぐ』を読んで戦争を考え、6年生のときに憲法前文に感動した。大学時代にさまざまな社会運動にかかり、家族で歩く「コマデモデー」に参加した。在学中に生まれた3人の子どもたちのおしゃべりが日々の楽しみ。それぞれの子供が4歳の時に言った『せんそうさせない。おとなを守ろう』『今日、戦争が起きるの？』『ママ、幸せ？』の言葉から『ほんとうにそうだな』と思えることを言う



扱われました。アピールは、母親大会の歴史に触れ、昨年7月に締結された「核兵器禁止条約」、今年4月の南北朝鮮の直接対話による「板門店宣言」米朝首脳会談が行われ「対立から対話」へ大きく歴史が動きました。いま、世界は平和の力が大きく広がっていることに確信を持ち、日本国憲法を力に、平和な世界になるよう力をあわせよう。原発ゼロの社会を。楽しく手を繋ぎあって母親運動をひろげよう」と述べています。